

2022年11月ドミニカ(共)内政、外交、経済定期報告

在ドミニカ共和国日本国大使館

1 内政

(1) 4日、当国で豪雨が発生し、国家特別区を含むサント・ドミンゴ県で6名が死亡、3名が行方不明。今般の豪雨被害に対し、アビナデル大統領は首都圏内において非常事態宣言を発令。

(2) 14日付「リスティン・ディアリオ」紙は、ダハボン県にて2日間でハイチ人不法移民者650名が拘束された旨報道。

(3) 28日、中央選挙委員会(JCE)は2024年の選挙日程を発表。地方選挙は2024年2月18日、大統領選挙、上院議員、代議員及び在外議員選挙は同年5月19日に実施決定。

2 外交

(1) 4日、クオン・ベトナム外務副大臣は、アビナデル大統領、メディーナ前大統領、エストレージャ上院議長、パチェコ下院議長をはじめ、同国の政治指導者らと会談。

(2) 7日、大統領府は、国家地質サービス局(SGN)とポーランド地質研究所が研究・協力及びプロジェクト資金調達について定めた天然資源分野の覚書に署名した旨発表。

(3) 19日、当地米国大使館は、当国政府のハイチ人に対する取扱いに対して警告を発出。同日、当国政府は、コミュニケを通じ、同警告は根拠が無く不適切であるとして非難。

(4) 29日、アビナデル大統領は、リチャードソン米南方軍司令官と二国間協力及び安全保障についての会談を実施。

3 経済

(1) 3日、中国、マレーシア、ベルギーに銅・亜鉛の精鉱を輸出しているドミニカ鉱業コーポレーション(CORMIDOM)役員は、鉱山労働者が10日間鉱内に閉じ込められ一時操業停止となったが、2024年は本格的に稼働する旨発言。

(2) 9日、ラファエル・サントス交通管理局(OPRET)長は、10日より首都サント・ドミンゴメトロ1号線の延長工事が開始される旨発表。

(3) 10日、アビナデル大統領は、中小零細企業支援促進評議会(PEOMIPYME)を通じ、3,651企業に裨益するとされる407百万ペソの融資を供与。